

G A P 認証の継続により安定生産・取引を実現しています

農事組合法人 桂(かつら)茶生産組合 ~岐阜県揖斐郡揖斐川町~

岐阜県揖斐郡揖斐川町の農事組合法人桂茶生産組合は、岐阜県で最初にJ G A P 認証を取得し、組合員39名が茶園50haを管理しています。摘採された生茶は共同利用施設で加工され、「美濃いび茶」として生産し取引されています。これまでの取組や今後の展望などについて、同組合事務局の土川さんにお話を伺いました。

昭和53年に設立された組合は、全国に先駆けた50m区画の茶園整備をはじめとして、防霜ファンの設置、機械化への対応を見据えた畝方向・畝幅の統一化、岐阜県下で最初に乗用型摘採機の導入を行うなど作業の効率化・省力化、高品質化に組合員一丸となって取り組んでいます。

平成17年に岐阜県が認証する化学肥料・化学合成農薬を30%以上削減する「ぎふクリーン農業」に登録、平成21年にはJ G A P 団体認証を取得しました。これを機に、組合員の生産工程管理が徹底されることで、高品質で均一な生葉の生産が行われ、取引先からの品質の信頼確保に繋がっています。

信頼確保により継続した大口の取引が可能となり、残留農薬のクレームなどの出荷リスクを心配することなく、安定的に高値での取引ができています。

また、平成29年には、大口取引先から輸出に向けた対応としてA S I A G A P 団体認証の取得要請があり、これまで蓄積されたノウハウにより容易に取得することができました。

今後は、後継者の確保が難しい中、組合員の高齢化により管理ができなくなる茶園は組合で管理することを進め、さらなる品質の均一・安定化、作業の効率化に取り組めます。また、茶摘み体験や緑茶の魅力の伝承などを積極的に行い、地域ぐるみで茶産地の継承と活性化に結びつけたいと考えています。



乗用型摘採機による摘採作業



農事組合法人
桂茶生産組合
のWebサイト
は、こちらを
ご覧ください